

平成 28 年 8 月 4 日

あきる野市議会議長 殿

会 派 名 くさしぎ

代表者名 辻よし子

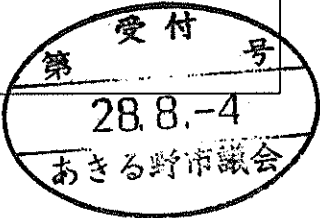


会派の（ 調査研究 ・ 研修 ） 報告書

このことについて、下記のとおり実施したので報告します。

記

1 調査研究または 研修実施日	平成 28 年 7 月 30 日（土） 平成 28 年 7 月 31 日（日）
2 調査研究または 研修の場所	秋保温泉緑水亭、および 加美町放射性物質最終処分場候補地、 宮崎地区まちづくりセンターの見学
3 調査研究事項 または研修名	2016 全国フェミニスト議員連盟サマーセミナー in せんだい
4 参加者氏名 （ 1 名）	辻よし子
5 調査研究または 研修の概要及び 感想等	別紙のとおり



【概 要】

1. 「女性が決定権の場に参画するには」

(仙台市長・奥山恵美子さん、宮城学院女子大学教授・浅野富美枝さんのお話から)
 仙台市では東日本大震災の際、避難所や仮設住宅において多くの女性たちが活躍をした。その背景には、国際婦人年の後、市内の小学校区ごとに「社会学級」が創設され、多くの女性たちが社会問題について学習したことにある。そこで学んだ女性たちが、あまねく地域で女性たちの核となり、活動を牽引した。

災害時に女性の視点はたいへん重要である。避難所生活で女性や障がい者など弱者のプライバシーや人権を守るためには女性の視点が不可欠である。日本の伝統的な地域文化においては、男性が表に立ち女性が陰で支えるという傾向があるが、もっと女性が意思決定の場に参加することが必要。

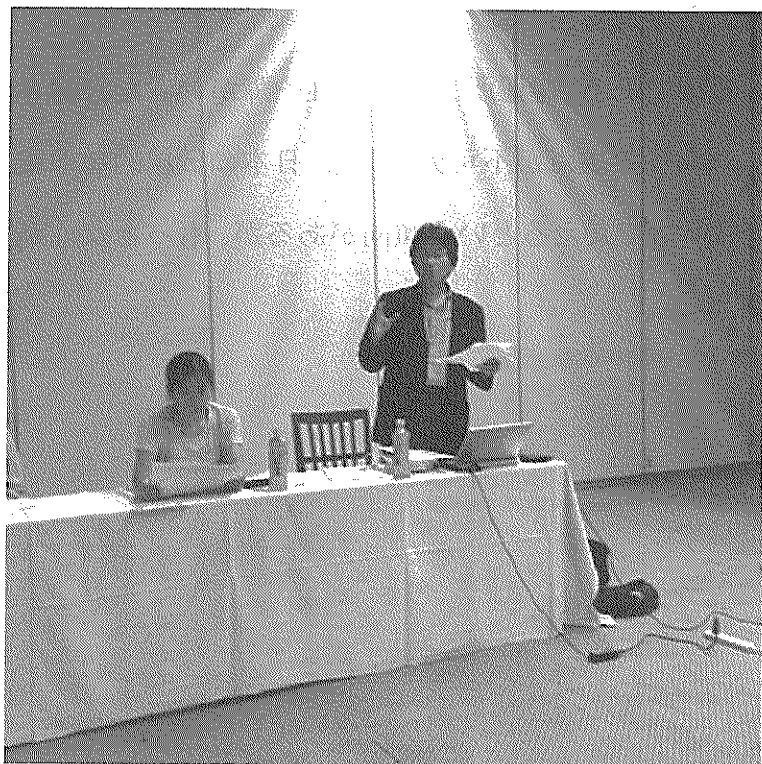


2. 分科会 安保関連法をめぐる状況と原発再稼働の動き

①現在、自衛隊が派遣されている南スーダンでは停戦合意が実質的には破られ戦闘状態にある。そうした中、今年11月には自衛隊の新たな部隊が南スーダンに派遣されることになっており、その際、昨年9月に強行採決された安保法に基づき武器使用可能な形に変わる可能性が高い。自衛隊が戦闘に巻き込まれることになれば自衛隊員に犠牲者が出ることに加え、今後日本人がテロの標的にされる危険性も増すことになる。なお11

月に派遣される自衛隊は東北の部隊が予定されている。(草場裕之弁護士の話)

②女川原発は、東日本大震災の際に敷地内の体育館が避難所として利用された。これを美談として受け止める動きもあるが、体育館内の放射線量がどのくらいあったのか測定されておらず、また女川原発内の電源5つのうち4つが地震により壊れるという危機的な状態の中で避難所になっていた。女川原発の再稼働について住民にアンケート調査をおこなったところ、半数以上が再稼働に反対であった。(阿部美紀子女川町議の話)



3. 加美町放射性物質最終処分場候補地

福島原発事故で発生した8000ベクレル/kgを超える指定放射性廃棄物の最終処分場を加美町に建設する話が持ち上がり、町をあげての反対運動が起きている。その現場を訪ね、町の担当職員の話をついた。

建設予定地は、農業用水用のダムを建設するために岩石が採掘された跡地。町としては、

*町の測量結果では、建設に必要な敷地面積が不足している。

*岩石がもろく、敷地内のあちこちで崩壊が起きている。

*豪雪地帯で、敷地内に雪崩危険個所が複数ある。

など理由から最終処分場には適さないことを環境省に伝え、見直しを求めている。



(感想)

本セミナーには全国の女性議員が集まり、各地の議会における女性議員の状況を知ることができた。また初日のシンポジウムをはじめ、セミナー全体を通して、女性が決定権の場に参加することの重要性、特に、女性が政治に参加することの意義を再確認することができた。